(2) 財政状態に関する分析

①資産・負債・純資産の状況

資産については、受取手形及び売掛金が９９億３千７百万円、有形固定資産が８６億９千９百万円増加したことなどにより、１４８億３千１百万円増加し７，００７億１千５百万円となりました。

負債については、未払法人税等が２６億１千２百万円、有利子負債が８億５千２百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が５９億８千２百万円増加したことなどにより、２億２千９百万円増加し４，３５３億６千万円となりました。

純資産については、宇部マテリアルズ株式会社を株式交換により完全子会社化したことなどにより、少数株主持分が１１６億５千９百万円減少し、資本剰余金が９９億３千３百万円増加しております。また退職給付に係る調整累計額の計上によりその他の包括利益累計額が３５億７千２百万円、剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、当期純利益により利益剰余金が１２６億２千３百万円増加、為替換算調整勘定が１２８億９千万円改善したことなどにより１４６億２百万円増加し２，６５３億５千５百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益１９６億６千６百万円、非資金項目である減価償却費３２４億円の振戻し、売上債権の増加６１億３千８百万円、たな卸資産の減少２４億２千８百万円、法人税等の支払額７０億３千５百万円等により、３７０億６千万円のキャッシュ・インとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形及び無形固定資産の取得による支出３６２億７千５百万円、関係会社株式の取得による支出３０億４千４百万円、投資有価証券の取得による支出１６億５千２百万円等により、４０７億４千２百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出４３３億９千３百万円、配当金の支払額４９億８千４百万円、長期借入れによる収入２３７億５千４百万円、社債の発行による収入１００億５千３百万円、コマーシャル・ペーパーの増加による収入１００億円等により、７４億９千１百万円のキャッシュ・アウトとなりました。

なお、有利子負債の当期末残高は、前期末に比べ８億５千２百万円減少し２，４５８億４百万円となりました。

また、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末に比べ５８億６千４百万円減少し３００億９千８百万円となりました。

（単位：億円）

項目	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	４６１	３７０	△９０
投資活動によるキャッシュ・フロー	△３９０	△４０７	△１６
財務活動によるキャッシュ・フロー	△５８	△７４	△１６
現金及び現金同等物に係る換算差額	１４	１６	2
現金及び現金同等物の増減額	２６	△９４	△１２１
現金及び現金同等物の期首残高	３３１	３５９	２８
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	1	3	1
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	―	３２	３２
現金及び現金同等物の期末残高	３５９	３００	△５８
有利子負債残高	２，４６６	２，４５８	△8

③次期の見通し

次期のフリー・キャッシュフロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計額）は、当期に比べ、税金等調整前当期純利益の増加等により、増加すると予想しております。

有利子負債の期末残高については、当期末に比べ２億円増加の２，４６０億円と見込んでおります。

④キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
自己資本比率（%）	２７．３％	２８．３％	３０．０％	３１．４％	３４．５％
時価ベースの自己資本比率(%)	３６．８％	４０．３％	３４．０％	２７．１％	２８．７％
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	４．７年	３．９年	６．３年	５．３年	６．６年
対純有利子負債比率(年)	４．１年	３．１年	５．４年	４．６年	５．８年
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	１０．４倍	１３．７倍	９．８倍	１２．５倍	１２．３倍

各指標の計算根拠

自己資本比率：（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー対純有利子負債比率：純有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている長短借入金、コマーシャル・ペーパー、社債、転換社債、リース債務を対象としております。純有利子負債は有利子負債からキャッシュ・フロー計算書の現金及び現金同等物期末残高を控除したものです。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。